



日刊自動車新聞

ホンダの最新技術とドライビングプレジャー、上質な乗り心地、環境性能を実現!

V6エンジンと画期的な3つのモーター搭載

「SPORT HYBRID SH-AWD」

先進の運転支援技術搭載

「honda SENSING」

通常走行から緊急時のリスク回避までを支援

発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351代表

ホンダ

新型
レジェンド

特集号

フラッグシップセダンレジェンド



ホンダのフラッグシップセダンとして君臨してきたレジェンドがフルモデルチェンジを受けて登場。常に最新最高の技術が投入され、プレミアムクラスの風格を与えられながらもドライバーズカーとして高いパフォーマンスを誇ってきた伝統は受け継がれ、5代目となる新型レジェンドもホンダ革新の技術を余すことなく搭載。最先端のパワートレインであるSPORT HYBRID SH-AWDは圧倒的な走行性能と上質な乗り心地を両立し、さらにクラストップの低燃費を実現。先進の運転支援技術による高い安全性も見逃せない。プレミアム感あふれるインテリアは、乗る人すべてに質感の高さを感じさせるだけでなく、長距離移動が苦にならない居住性も確保。次世代のプレミアムセダンにふさわしい仕上がりを見せるレジェンドの魅力は尽きない。

クラスを超えた乗り心地と燃費性能 16.8km/ℓ

LEGEND 新登場

文/田畑 修(モータージャーナリスト) 写真/HONDA

Engineer's Voice

新型レジェンドではシート地をはじめインパネ回りなどに配した「革」の質感にこだわりました。実際に触って、その風合いや肌ざわりのよさを感じてください。そしてぜひ試乗なさって、狙ったラインをスムーズに走れるSPORT HYBRID SH-AWDのポテンシャルを体感して欲しいですね。クルマの大きさを感じさせず、運転が上手くなったと思われる方も少なくないはず。視点を遠くに置けるので疲れにくいヘッドアップディスプレイの効果も実感していただけたらと思います。



本田技術研究所 青木 仁 さん

静粛性と快適装備 大切な家族やゲストのための、おもてなし空間

エンジンやモーターの音を発生源から抑制し、高い静粛性を確保した新型レジェンド。エンジン振動を推定して打ち消すように制御するアクティブコントロールエンジンマウントを採用し、リアのモーターはトルク変動を最小限としてEV走行時のノイズを低減。さらにフロントとサイドのウィンドウはすべて遮音機能付きガラスとし、ロードノイズなどの侵入を抑えている。また、おもてなしの配慮が行き届いた快適装備の充実も見逃せない。運転席、助手席、後席でそれぞれ温度設定が可能なトリプルゾーンコントロール・フルオートエアコン、ベンチレーション機能付き前席シートなどに加え、直射日光を遮るサンシェードはリアウィンドウ(電動)と後席サイドウィンドウに装備されている。

純正OPパーツ

新型レジェンドの上質感をより際立たせ、存在感を演出する純正オプションパーツも数多くそろえられる。

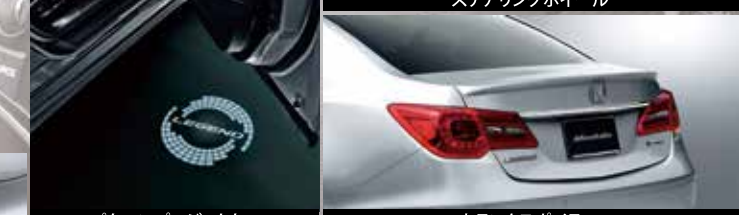
控えめながらもスポーティ感を強調するフロントロアスカートとトランスポイラー。室内のクオリティ感を増す本革&木目調タイプのステアリングホイールや、毛足の長いハイクオリティタイプのフロアカーペットマットも気になる逸品だ。さらにドアを開けたとき路面にLEGENDのロゴを投影するとともに足元を照らすパターンプロジェクターなど、バラエティに富んだアイテムをラインナップ。人気の高いゴールドエンブレムも用意されている。



LEGEND HYBRID EX
純正アクセサリー装着車



ステアリングホイール



トランスポイラー



パターンプロジェクター



19インチ アルミホイール



ロアスカート フロント用



レジェンド主要諸元表

車名・型式	ホンダ・DAA-KC2
トランスミッション	7速オートマチック+パドルシフト
全長/全幅/全高(mm)	4,995/1,890/1,480
ホイールベース(mm)	2,850
トレッド 前/後(mm)	1,630/1,630
車両重量(kg)	1,980
乗車定員(名)	5
客室内寸法 長/幅/高(mm)	2,080/1,540/1,155
エンジン種類	水冷V型6気筒横置
エンジン総排気量(ℓ)	3,471
使用燃料種類	無鉛プレミアムガソリン
燃料タンク容量(ℓ)	57
エンジン最高出力(kW[PS]/rpm)	231[314]/6,500
エンジン最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	371[37.8]/4,700
電動機(モーター) 最高出力(kW[PS]/rpm)	(前) 35[48]/3,000 (後) 27[37]/4,000 (1基当たり)
電動機(モーター) 最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	(前) 148[15.1]/500-2,000 (後) 73[7.4]/0-2,000 (1基当たり)
JCOBモード走行燃費消費率(km/ℓ)	16.8
タイヤ(前・後)	245/40R19 94Y

※オプション装着により、車両重量などが変わります。詳しくは販売店にお問い合わせください。



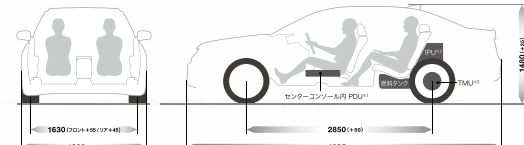
LEGEND



クラストップの静寂性、全席に快適を提供する充実の装備

○インテリアと後席空間

上質な本革にこだわって仕立てられたシートは、最高の風合いですべての乗員を迎えてくれる。ゆったりとした形状で身体を包み込んでくれると同時に、最適なホールド性により一体感を高め、長時間ドライブでも疲れにくい構造となっている。のびやかな弧を描くインストルメントパネルは高級感を醸し出し、大径の二眼メーターはドライブの楽しさを予感させる。必要な情報をフロントウィンドウに投影するカラーのヘッドアップディスプレイは鮮明で見やすく、運転の疲れを軽減してくれる。おもてなしの空間である後席スペースはホイールベースの延長により膝回りの余裕度が増し、ゆったりとくつろぐことができる。遮音も行き届き、静粛性は一段と向上している。



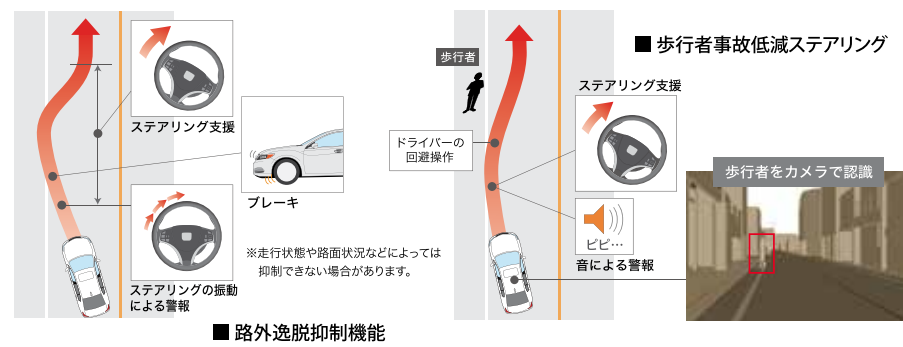
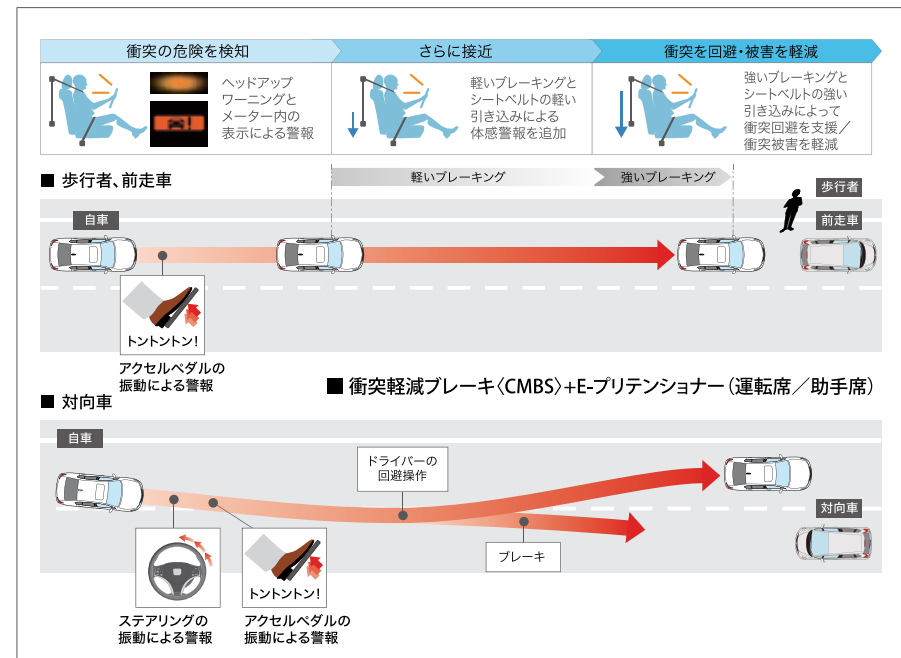
●()内は従来モデル比。●単位:mm 数値はすべてHonda測定値。
※1 パワーステアリング ※2 インテリジェントパワーステアリング ※3 ツインメーターユニット

通常走行から緊急時のリスク回避までを支援する



○先進安全性能

新型レジェンドはホンダの先進の安全運転支援システム「Honda SENSING」を初搭載。ミリ波レーダーと60m前方の歩行者も識別できるカメラを併用し、衝突の恐れがある障害物などをいち早く感知。警告を発するとともに衝突被害軽減ブレーキ(CMBS)を自動させて対応する。さらにクルマが車線を逸脱しそうな場合にはステアリング制御も行う路外逸脱抑制機能、道端の歩行者との万一の接触を予測してステアリングを回避方向へ制御する歩行者事故低減ステアリングなども備え、ドライバーの不注意による事故を未然に防いでくれる。また、カメラが道路標識を検知し、マルチインフォメーションディスプレイに表示して注意をうながすなど、多方向から安全運転を支援してくれる。



○衝突安全とニーエアバッグ

全方位の安全性能を誇る新型レジェンドは衝突安全性能も万全だ。衝突エネルギーを効率的に吸収・分散させるコンパティビリティ対応ボディは、万一の事故時もキャビン空間を確保して乗員のダメージを最小限に抑えるとともに、相手車両などへ与えるダメージも軽減。歩行者傷害軽減ボディはボディ前部の衝撃吸収能力を高めるとともに、瞬時にボンネット後方を持ち上げて頭部衝撃を軽減するポップアップフードシステムも搭載。また前席ダッシュボード下には乗員の下肢のダメージを軽減するニーエアバッグも装備するなど、先進の安全技術を惜しげもなく投入。世界トップレベルの安全性能を有している。

○ディスプレイとオーディオ

ダッシュボード中央のカーナビゲーション画面下には7インチサイズの「オンデマンド・マルチユース・ディスプレイ」を搭載。高精細W-VGAディスプレイはタッチパネル操作が可能で、オーディオやエアコンの操作に加え、よく行く場所や電話番号をすぐに呼び出せるショートカット機能も備えている。オーディオシステムは最高峰のホームオーディオとしても知られるKRELL(クレル)社が選ばれ、サブウーファーを含む14個のスピーカーが最上級の音を響かせてくれる。サラウンドシステムによりすべての席で臨場感あふれるサウンドに浸ることができる。

フラッグシップセダンにふさわしいエクステリア



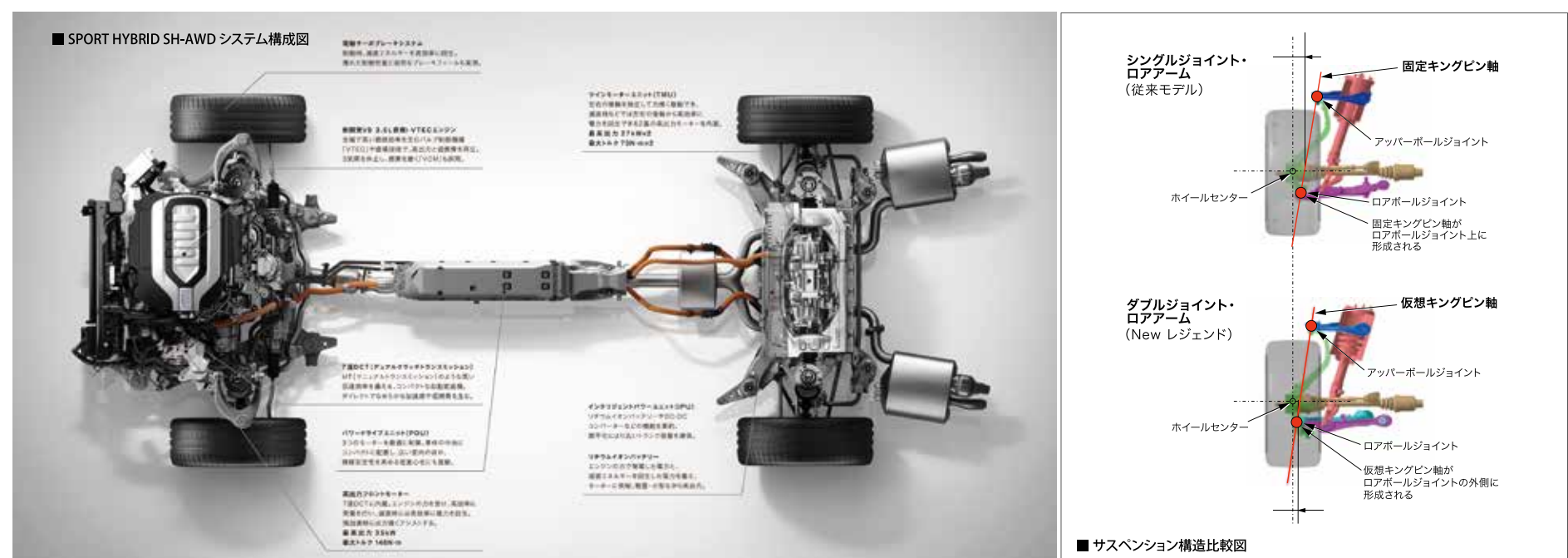
風格のあるセダンフォルムはフラッグシップにふさわしい存在感を示しながらも、流麗なスタイリングがエレガントさを感じさせる。フロントは力強いワイド&ローのデザインに加え、新たに採用されたジュエルアイLEDヘッドライトがアクセントを与えている。宝石を思わせるこのヘッドライトは昼夜を問わず美しい輝きを見せる一方で、優れた配光特性により路肩まで鮮明に照らしだし、安全性を高める役割も果たしている。フロントからリアドアまで貫く大胆なキャラクターラインがサイドビューを際立たせ、19インチの大径ホイールもあいまってスポーティさも演出。リアスタイルは厚みのあるプレーンな造形の中にLEDのリアコンビネーションランプが輝き、過ぎ去った姿を印象づける。



V8を超える力強い加速と、直4同等の燃費性能 SPORT HYBRID SH-AWDシステム

どんなカーブでも安定して走り抜け、雪道など滑りやすい路面でも威力を発揮してくれるSH-AWD(スーパーハンドリング・オールホイールドライブ)がさらに進化。「SPORT HYBRID SH-AWD」となって新型レジェンドに搭載された。常に四輪に最適な駆動力を配分するSH-AWDに加え、エンジンと3つのモーターを駆使するハイブリッドシステムにより高度な制御を実現。後輪を駆動するツインモーターユニットとの連携により、加速時や四輪駆動時でも燃料消費を抑え、パフォーマンスと低燃費を高い次元で両立している。

さらにブレーキを高精度で制御して操舵を支援する「アジャイルハンドリングアシスト」、VSA(車両挙動安定化制御システム)とEPS(電動パワーステアリング)の統合制御により挙動の乱れを防ぐ「モーションアダプティブEPS」などの連携により、スムーズかつシームレスな操縦感を実現。意のままにクルマを操る感覚を存分に味わうことができる。



○エンジンとハイブリッドシステム

V6 3.5Lの自然吸気エンジンは直噴システムとi-VTECの連携により、プレミアムセダンにふさわしいスムーズな加速感を実現。さらに低負荷時には3気筒を休止させることで低燃費も両立している。このエンジンに高出力モーターを内蔵した7速DCT(デュアルクラッチ・トランスミッション)が組み合わせられ、効率的なモーターアシストによりバワフルかつシームレスな走りを満喫できる。また、後輪はTMU(ツインモーターユニット)によって駆動され、瞬時に左右輪にそれぞれ最適な駆動力を与えることで理想のライントレーシングを実現。エンジンとモーターの綿密な連携により、絶大なパフォーマンスと低燃費を高い次元で両立している。

○ボディとシャシー

乗り心地や操縦安定性の要となるボディは静剛性、動剛性とも大幅に向上させ、高い操舵応答性とリアリティを実現している。一方でホンダが新たに開発したスチールとアルミの結合技術駆使し、全てのドアスキンをアルミ化。さらにフロントフード、フロントフェンダーなどもアルミとすることで大幅な軽量化を果たし、運動性能の向上と燃費削減を図っている。サスペンションは熟成されたフロント・ダブルウィッシュボーン、高い路面追従性に加えて乗り心地を向上させたリア・マルチリンクの組み合わせを一段と進化させ、振幅感応型ダンパーの採用などで高い操縦安定性を確保。高出力EPS(電動パワーステアリング)の採用による正確で滑らかなステアフィールも特筆できる。